

## 自然広場から： 近隣の自然の変化に目を向ける No.39

### 「サザンカとツバキ *Camellia sasannca & japonica*」

2021年2月28日

椿は縄文時代からあったと言われ、万葉集に詠われている日本を代表する花の一つだ。大島椿はヤブツバキとして有名で、学名 *Camellia japonica* から伺える。さらに、江戸末期にシーボルトが日本滞在中に多くの植物を観察・採取した成果を絵師の精密画付きの大冊「日本植物誌」(Flora Japonica)の中で特別な扱いしている。彼は、持ち帰った種を欧州各地に広げ、日本の花として親しまれている事実がある。私は、2000年にオランダで学会があった時、ライデン大学に保管されている「日本植物誌」の原本を見に行ったことがある。中を開いて見るだけでなく写真に撮ることが許された。その時の感激は今も忘れられない。

*Camellia* は、日本に自生している**藪ツバキ**（いわゆる**椿**）と**雪ツバキ**（北方に適応した椿）、**サザンカ**(**山茶花**) 3つの同族名。因みに、シーボルトの本の花には *Camellia sasannca* と記されている。なお、**茶の木** *Camellia sinensis* も類型である事から“**山茶花**”名が生まれたのかも知れない(推測)。

**椿と山茶花の違いは？どこで見分けられるのか？**見分け方がネットに載っているが、実際には難しい！確かなポイントの一つは開花時期：10月半ばから咲き始めるのが**サザンカ(S)**。**椿(J)**は年明けから様々な形の花が咲き出す。しかし、両者とも一重と八重の花が存在し、混在する時期があるので判別に苦労する。

厳密な判別法に興味のある方にネット情報を要約してお伝えすると、a. 花の散り方：**J**は花首から落ちる、**S**は花びらが散る。b. 形：**J**はやや筒状で厚みがある、**S**は平面的で薄い。c. 葉脈：**J**の中心はクリア、**S**の中心は黒っぽい。d. 葉：**J**は鋸歯が浅い、**S**は鋸歯がある。e. 歯の裏側：**J**には毛がない、**S**には毛がある。

個人的にはJ, S判別に実際的な意味があるのか疑問を感じる。その理由は、親株の *Camellia* からが気候や土地の特性に適応するために変異した同族種に過ぎないと思うからだ。さらに、人為的に相互に掛け合わせ（交配）した膨大な数の新種がつくられ、それぞれニックネームが付けられている現実があり、類似点が多く区別が困難（素人には）であると感じたからだ。

#### ツバキ画像索引 花色・花形別一覧

<http://www.nagominoniwa.net/list/list-top.html>

#### サザンカ現存品種名一覧

<http://talk-to-oneself.oops.jp/sazannkahinnshu/hinnshu1.htm>

この一覧は、*Camellia* の多様性と日本人がいかに**椿**、**山茶花**を愛しているかを示す資料であると思う。

この度、撮影した花の名前を調べるために上の一覧のお世話になったが、最後まで確信できなかった花がある（間違っていたらお知らせいただければ、お詫びして直ちに訂正します。）